

森林経営管理制度を踏まえた市町村支援について

～岐阜県における民有林支援の取組～

岐阜森林管理署 主任地域林政調整官 ○松下 康宏
下呂市 林務係 小池 徳一

1 課題を取り上げた背景

森林経営管理制度や森林環境譲与税などが導入されて、市町村による一層の森林整備が期待されています。しかし、新聞などで譲与税を有効活用する手立てが整っていない等の報道があります。このため地元市町村がこの制度を効率良く活用できるように、国有林の現場を利用して実務的な手段の研修を行うなど、技術面や情報面での支援や連携のあり方に取組みます。

2 取組の経過

(1) 民国連携した森林整備

地元行政機関（下呂市）と森林整備の方向性や森林環境譲与税についての意見交換を行い、国有林内で民有林が実行する事業モデルがあれば実行方法や情報の共有を行うことを確認しました。この中で事業検査の実施方法を国有林内の事業箇所ですぐ実地研修を行いました。



間伐検査実地研修

(2) 森林共同施業団地

下呂市をはじめ5市町村と森林整備協定を締結し、連携した間伐等の森林整備や森林作業道路網の整備に取り組み、林業生産性向上や林業事業者の育成・強化を推進します。

(3) ニホンジカ対策

ニホンジカによる被害には民国の区別は無く、当署においても造林地に防鹿柵の設置や罠による捕獲駆除等を実施しています。また、これらの取組の実際や結果等を共有する目的でニホンジカ食害防除対策検討会を開催しました。



ニホンジカ食害防除の検討会

3 実行結果

下呂市小坂町落合国有林内において森林作業道を活用し、民有林境まで新たに開設した作業道を活用して運材等に対応できるよう調整しました。

また、ニホンジカ対策についての検討会を開催し、県職員7名、市町村職員4名、事業者3名が参加しました。（低コストで効果が期待できる防除対策など多くの質問が出され、有意義な意見交換になりました）。

今後も民国で協調できる森林施業の各種研修会開催など、国有林が持っている技術やノウハウを普及させます。

4 考察

今後も県や市町村等の民有林が必要としている各施業の見本となる事業の紹介や、試験地の貸出しや、現地検討会や研修会等への参加を促し、民国連携のさらなる強化を目指して参ります。